

定期作況報告

(平成24年9月20日現在)
上川農業試験場天北支場

I 気象概況

8月下旬から9月中旬までの気象は以下のように推移した。

8月下旬：平均最高気温が27.4℃(対平年比+4.6℃)、平均最低気温は18.2℃(+3.3℃)と平年より高かったため、平均気温は22.7℃(+3.9℃)と平年より高かった。降水量は12.5mm(27%)と平年より少なかった。日照時間は74.5時間(128%)と平年よりやや長かった。畑地温は20.5℃(+2.6℃)と平年より高かった。

9月上旬：平均最高気温は25.3℃(+2.7℃)、平均最低気温は17.7℃(+3.4℃)と平年より高かったため、平均気温は21.2℃(+3.0℃)と平年より高かった。降水量は22.5mm(53%)と平年より少なかった。日照時間は44.8時間(81%)と平年並であり、畑地温は19.6℃(+2.5℃)と平年より高かった。

9月中旬：平均最高気温は22.7℃(+1.5℃)、平均最低気温は17.7℃(+5.7℃)と平年より高かったため、平均気温は20.2℃(+3.7℃)と平年より高かった。降水量は46.0mm(139%)と平年よりやや多く、日照時間は20.5時間(35%)と平年より短かった。畑地温は19.2℃(+2.9℃)と平年より高かった。

以上、この期間を要約すると平均気温の3旬の平均は21.4℃(+3.5℃)と平年より高かった。降水量の3旬合計は81.0mm(67%)と平年より少なく、日照時間の3旬合計は139.8時間(81%)と平年並であった。畑地温の平均は19.8℃(+2.7℃)と平年より高かった。

4月からの主気象要素の積算値は、平均気温、日照時間、畑地温は平年並に推移している。一方、降水量は平年の72%と平年よりやや少なく推移している。

a. 気象表

項目	8月下旬			9月上旬			9月中旬			3旬平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	22.7	18.8	3.9	21.2	18.3	3.0	20.2	16.5	3.7	21.4	17.9	3.5
平均最高気温(℃)	27.4	22.8	4.6	25.3	22.6	2.7	22.7	21.2	1.5	25.2	22.2	3.0
平均最低気温(℃)	18.2	14.9	3.3	17.7	14.3	3.4	17.7	12.0	5.7	17.9	13.8	4.1
降水量(mm)	12.5	45.5	△ 33.0	22.5	42.7	△ 20.2	46.0	33.2	12.8	81.0	121.4	△ 40.4
降水日数(日)	3	5	△ 2	5	5	1	7	4	3	15	14	1
日照時間(hrs)	74.5	58.0	16.5	44.8	55.5	△ 10.7	20.5	58.8	△ 38.3	139.8	172.3	△ 32.5
平均畑地温(10cm,℃)	20.5	18.0	2.6	19.6	17.1	2.5	19.2	16.3	2.9	19.8	17.1	2.7
最多風向	SW			E			ESE					
平均風速(m/s)	2.3			2.6			2.3					

注1) 平均畑地温は上川農試天北支場のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。
2) 平年値は前10か年の平均より上川農試天北支場作成。
3) 降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値。
4) △印は対平年値比減を示す。

b. 主気象要素積算値 (4月21日～9月20日)

	平均気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (hrs)	畑地温 (℃)
本年	2,293	335	743	1,899
平年	2,153	463	749	1,944
比較	140	△ 129	△ 6	△ 46

Ⅱ 作 況

1. 採草型 チモシー（3番草）

作況：やや良

事由：8月下旬以降は気温が高く、再生後の生育が促進された。この期間の降水量は少なく推移しているが、生育には影響はなく、草丈は平年より8cm高かった。
以上より、目下の作況はやや良である。

調査項目：

草 丈（3番草・cm）		
本年	平年	比較
52	44	8

注）平年値は前7か年のうち、平成20年（最豊年）及び平成22年（最凶年）を除いた5か年平均値。

2. 放牧型 ペレニアルライグラス（5番草）

作況：不良

事由：草丈は平年に比べて5cm低く、乾物収量の平年比は78%であった。生育期間全般を通じて高温かつ降水量が少く推移したことから、生育が抑制されたと考えられる。乾物率は平年より2.4%低いが、これは収穫期直前にまとまった降雨があったためと考えられる。
以上より、目下の作況は不良である。

調査項目：

草 丈（cm）		
本年	平年	比較
35	40	△ 5

生草収量（kg/10a）			乾 物 率（％）			乾物収量（kg/10a）			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
967	1,102	△135	12.7	15.1	△2.4	123	157	△34	78 %

注）平年値は前7か年のうち、平成18年（最豊年）及び平成22年（最凶年）を除いた5か年平均値。